

教材のダウンロード期限について

毎週金曜・朝 7:00 に「ニュース教材を発行しました」のお知らせメールを全ての購読者様にお送りしています。そのメールで「できるだけ 3 週間以内に教材をダウンロードして下さい。期間内にダウンロードできなかった場合は、お手数ですが、パスワードをお教えしますので、お問合せ下さい」とお願いをしています。

万が一メールが届いていない方は、tsubaki.yuki1229@gmail.com にお問い合わせください。

また、Instagram でも、毎週金曜にお知らせを出しているの、フォローをお願いします。

★椿由紀 Instagram https://www.instagram.com/yuki_tsubaki2020/

この教材の使い方

- (1) 教材は Word と PDF でリリースします。Word ファイルはお好きなように加工してください。不必要と思われる問題のカット(削除)、本文や設問のアレンジ差し替え、加筆修正、イラストや写真を加えるなど、自由です。
- (2) 「この問題は簡単すぎる」「設問は日本語でなく英語にしてほしい(逆に難しいから英語でなく日本語にしてほしい)」というご意見をいただきますが、全ての先生方の要望に応えられず申し訳ありません。先生方の判断で言語は自由に変えて下さい。
- (3) 毎回、スペルや文法ミスがないか細心の注意を払っていますが、それでも間違いを発見した場合、後日 HP に訂正版を出しています。申し訳ありません。もしミスに気付いたら、教えていただけましたら助かりますが、お時間がなければ修正してそのまま授業でお使い下さい。
- (4) 全ての教材に暗唱文(重要な文法、使える表現を含むキーセンテンス3～5文)を付けています。「夢タン」の著者の木村達哉先生のセミナーで「英語は何度も音読して暗唱するのが上達の近道」と教えていただいたことをヒントに、2021 年から始めました。文を暗唱してからニュースを読んでも、ニュースを読んだから仕上げて暗唱しても良いと思います。生徒さんの習熟度と状況に合わせて、やってみて下さい。

教材執筆にあたって参考にした記事・書籍

<https://spice.fsi.stanford.edu/news/instruments-beating-heart-film-ema-ryan-yamazaki>

<https://www.instagram.com/emaexplorations/p/DDs8Etjy7Gh/?hl=en>

<https://deadline.com/2024/12/instruments-of-a-beating-heart-director-ema-ryan-yamazaki-interview-1236191698/>

<https://www.yahoo.com/entertainment/director-ema-ryan-yamazaki-her-233829499.html>

<https://www.nytimes.com/2024/04/05/world/asia/japan-documentary-films-ema-ryan-yamazaki.html>

<https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/en/shows/3025202/>

<https://www.kcrw.com/news/shows/press-play-with-madeleine-brand/rain-trump-oscars/instruments-beating-heart>

<https://press.oscars.org/news/97th-oscars-shortlists-10-award-categories-announced>

イラスト

<https://www.fumira.jp/cut/kodomo/file843.htm>

[https://www.ac-](https://www.ac-illustr.com/main/search_result.php?word=%E8%BC%AA%E9%83%AD&search_word=%E9%9F%B3%E6%A5%BD%E4%BC%9A+%E5%AD%90%E4%BE%9B&page=0)

[illustr.com/main/search_result.php?word=%E8%BC%AA%E9%83%AD&search_word=%E9%9F%B3%E6%A5%BD%E4%BC%9A+%E5%AD%90%E4%BE%9B&page=0](https://www.ac-illustr.com/main/search_result.php?word=%E8%BC%AA%E9%83%AD&search_word=%E9%9F%B3%E6%A5%BD%E4%BC%9A+%E5%AD%90%E4%BE%9B&page=0)

1 ページ

★単語 (coworker)同僚 (education)教育

Q1 アカデミー賞／an Academy Award.

Q2 The story takes place in an elementary school in Tokyo, Japan.

Q3 They face the challenge of making an orchestra and performing Beethoven's "Ode to Joy" at a school ceremony.

Q4 She has a British father and a Japanese mother.

Q5 She went to an elementary school in Osaka, an international middle and high school in Japan, and a university in the U.S.

Q6 ●あなたは遅刻したことがない。それはすばらしいことです。／You are never late, that's great.

●あなたは勤勉だね。／You're so diligent.

●あなたのチームへの貢献は素晴らしい。／Your contributions to the team are amazing.

Q7 給食を配る（配膳する）こと・教室を掃除すること

Q8 協力と責任／cooperation and responsibility

※西洋の教育は、individualism（個性・個人主義）を育てることに重きを置いていると良く言われます。

Q9 ★電車について：なぜ日本では、電車が時間通りに来るの？／"Why do trains run on time in Japan?"

★道路について：なぜ日本の道路はきれいなの？／Why are the streets so clean?

2 ページ

Q10 先生たちの「ブラックな」労働状況について

※ "black" working conditions の "black"は和製英語なので、Quotation Mark(“ ”)がついています。

本来の英語では、過酷な長時間労働は英語で "harsh working conditions"などで表現すると思います。

山崎エマさんが日本語で映画について話しているインタビューで「先生方のブラックな労働環境」という表現をなさっていたので、そのニュアンスを出すため、あえて和製英語を使いました。

もし気になりましたら、変えてください。

Q11 解答例

●Because schools shape Japan's future.

●Because teachers are working hard every day for their students.

[Essay Writing]

Q12 解答例

There are two advantages of students serving school lunches.

First, children can learn cooperation, teamwork, and responsibility by serving lunches together.

Second, it is useful for their future. Students should practice tasks like serving food and cleaning classrooms when they are young. They can do household tasks when they grow up.

★「もっと詳しく海外の小学校の掃除の事情を知りたい」という方は、

2023 年 12 月 第 4 週の小学生教材の模範解答に詳しく描いたので、そちらをご参照ください。

「やさしい英語ニュース バックナンバー」 https://yuki-tsubaki-news.com/elementary_back_number/



椿由紀のやさしい英語ニュース

Vol.419 教室掃除は日本だけ？

<https://www.youtube.com/watch?v=31639oHFOc4>

Q13 解答例

★Yes の意見 I think students should clean the classroom. I have two reasons.

First, cleaning develops students' sense of pride and love for their school.

Second, it teaches teamwork and responsibility. By working together to clean, students learn to care for their environment and take responsibility for keeping it tidy.

★No の意見（「生徒が掃除をすると、プロの掃除ワーカーの仕事を奪うことになる」という議論は、アメリカでは当たり前の意見だと言われています）

I don't think students should clean the classroom for two reasons.

First, it could take away jobs from professional cleaners.

Second, schools are for academic learning. Housework should be taught at home, not in school.

Students should focus on their studies.

Q14 模範解答

★I want to be a teacher. I have two reasons.

First, I like school. I want to help other students learn. Teaching makes me happy.

Second, I like my teachers. They are always kind to me. I want to be good teachers like them.

★I don't want to be a teacher. I have two reasons.

First, teaching is difficult. I can't teach other students well.

Second, I want to be a soccer player in the future.

3 ページ

1) wants to be 2) decided to make 3) To make 4) to teach

2) 1) The children tried to help each other.

2) The director wanted to win an Academy Award.

3) 1) Her dream was to be a movie director. / She dreamed to be a movie director. などの答えも、正解にしたいと思います。

2) Children like to clean the classroom.

3) To work in New York was a big challenge for her.

指導の手引き

日本で教育を受けた人は、「給食当番」や「教室掃除」を、「当たり前のこと」として受けとめている人も多いと思います。ところが、これは日本の小学校では普通ですが、世界の人たちからは驚かれ、称賛されています。

例えば、サッカーのワールドカップなどで、試合終了後、日本人のサポーターたちがゴミ拾いをしている姿が世界の人々に尊敬され、ソーシャルメディアで写真や動画が拡散されたりします。

こうした日本人の礼儀正しさが「小学校の教育から来ている」と、映画監督の山崎エマさんは考えたと言っています。

私自身の実話をご紹介します。私には、香港に住んで子育てをしているオーストラリア人の友人がいます。

彼女は日本人男性と結婚しているため、2歳の娘さんを「日本人小学校と、英語で教育を行うインターナショナルスクール、どちらで教育させるのが良いか？」と話し合っているとのこと。

「Yuki, あなたはどう思う？」とメールで相談されました。

私は「日本の小学校の一番素晴らしいところは、生徒が毎日、教室の掃除をするところ」とメールに書きました。

すると友人は “Wow! Do students clean the classroom in Japanese schools? It's amazing!! I want my daughter to go to a Japanese school in Hong Kong!!” と返信してくれました。

日本の小学校で英語を教えているアメリカ人の友人も、生徒が掃除をすることについて、“definitely good”と言っていました。

このように、教室掃除の習慣については、国外の人から非常に評判が良いのです。

日本の小学校で教育を受けている生徒の皆さんには、自分の受けている教育に誇りを持ってほしいと思います。